



未来の世代につなぐ  
丘珠空港の将来像の実現に向けた

# 提言書



Hokkaido Economic Federation

北海道経済連合会

2020年7月



札幌市長

秋元克広様

### 未来の世代につなぐ丘珠空港の将来像の実現に向けた提言

北海道は、豊かな自然を背景とした良質な資源（コンテンツ）に恵まれる地域ですが、生産年齢人口の減少による経済の縮小や自然災害の激甚化への対応といった課題も顕在化しています。

そうした中、新型コロナウイルス感染症は北海道経済にかつてない深刻なダメージを与えています。この新型コロナウイルス感染症を克服した後、北海道経済が持続的発展を遂げるためには、「食」と「観光」を中心に「北海道ブランド」の価値を高め、世界・国内の需要を取り込むことが必要です。その実現において、国内外からの来道者の玄関口となる空港は極めて大きな役割を担っています。

このような観点の下、当会は札幌都市部に近接する丘珠空港の好立地性を踏まえ、医療・防災面等での役割強化に加えて、経済面における丘珠空港の利活用に向けて需要予測等の調査研究を行い、報告書を取り纏めました。調査の結果、丘珠空港は短時間での移動を必要とする旅客等を中心に更なる利用需要が期待でき、丘珠空港の機能拡大は、医療・防災面での輸送力向上に資するだけでなく、北海道新幹線の札幌延伸等を見据えると、札幌圏を結節点とした道内外旅客の多様な移動ニーズに対応する新たな交通ネットワークの構築に寄与するとの認識を得たところです。さらに、道内民間委託7空港と連携を図りながら、丘珠空港を国内線旅客の受け皿として最大限活用することで、新千歳空港での国際線旅客の更なる受け入れ能力の確保につながり、それにより得られる経済波及効果の相当程度が札幌圏にもたらされるものと期待されます。加えて、新千歳空港が被災した場合の代替輸送手段として丘珠空港を活用することが可能となり、都市機能の強靱化の観点からも極めて有意義です。

以上を踏まえ、札幌圏ひいては北海道経済の持続的発展を見据えた長期的な視点から、未来の世代につなぐ発展的な丘珠空港の将来像の実現に向けて、提言をするものです。ついては、今後の貴市の検討において、別記事項について特段の配慮を賜りたく、お願い申し上げます。

2020年7月

北海道経済連合会  
会長 真弓明彦



## 提 言 事 項

1. 滑走路長について、東京を含めた道外大都市圏路線の開設等、  
空港の拡張性が大きく向上し、幅広い運航ニーズに対応が可能  
となる 2,000m 以上への延伸。
2. 空港利用客の大幅な増加に対応するため、空港ターミナルの新  
設や地下鉄東豊線の空港ターミナル乗り入れの検討。

Hokkaido Economic Federation (Dokeiren)

北海道経済連合会（略称：道経連）

〒060-0001

札幌市中央区北 1 条西 3 丁目 3 札幌 MN ビル

TEL 011-221-6166

FAX 011-221-3608

<http://www.dokeiren.gr.jp>